



北海道旭川聾学校だより 9月号

希望の鐘

2026・9・26 発行 文責：門眞 義弘



「地域の中で生きる ～命を守るそして集い支え合う聾学校に～」

北海道旭川聾学校長 門眞 義弘

今年の旭川の夏は、昨年に比べて真夏日が少なかったためか、過ごしやすかったです。既に、朝晩は涼しくなり、合わせて服装も変化してきています。旭川だけを見れば穏やかな季節の変化に感じますが、日本全国や世界に目を向ければ、異常気象と呼ばれる事象や災害が急増しているのが現実です。7月28日に熊本県で起きた最大震度7の「令和8年熊本地震」や8月13日からの千葉県で起きた「令和8年8月千葉豪雨」では多くの方が被災されました。その後も、多くの地域で線状降水帯が発生することによる水害などが起きる状況が続きました。また、ネパールと中国の国境付近で起きた土石流による災害映像は衝撃的でした。世界のどこにいても災害を自分事に捉えなければならぬと感じる日々を過ごしています。

本校では、防災の日である9月1日からの一週間を防災週間として、一日防災学校に取り組んだり、水害避難訓練に取り組んだりしました。既に、ホームページの校長のページで御紹介したとおり、新聞でも報道していただいたように、充実した教育活動ができました。(御覧になっていない方は是非HPを御覧ください。)しかし避難訓練は、一つの想定に過ぎません。地震による津波が想定される際に、東日本大震災のあった東北地方では、「津波てんでんこ」という自らの意思で一人ひとりが、急いで「陸続きの高台」に逃げるようにとの言い伝えがあり、日常から避難行動や避難訓練に生かされています。本校では、垂直避難の訓練をしましたが、状況の違いによる判断を的確に行い、その場その場で子どもたちの命を守る適切な避難行動が取れるように、常に頭の体操をしておく必要があると考えています。

さて、昨年7月に募集を開始した「旭川聾学校サポーターズ」ですが、現在、61名が登録してくれております。そのうち、「聴覚障がい理解」と「手話体験」の講義を受け、登録証を発行し、ボランティア活動をはじめられている方が41名いらっしゃいます。本当にありがとうございます。

「旭川聾学校サポーターズ」は、コミュニティ・スクールの仕組みに位置付けた地域学校協働活動として行っている活動です。先生方が、必要とするボランティアを活動ごとに募集し、可能な方だけが参加する「お互いにウィンウィン」のボランティアです。また、都合がなかなか合わずにボランティアに参加できなくても、本校や聴覚障がいについて理解を深めることができる仕組みになっています。是非、皆様も御参加ください。ホームページに掲載のQRコードからお申し込みいただけます。

今、私たちが推進しているコミュニティ・スクールの取組は、次期学習指導要領とも深く関連し、様々な課題解決にも結び付けることができるのではないかと考えています。現在は、学校や教育活動の課題解決が主な活動になっているかもしれませんが、「教育課程の魅力化」や「社会教育活動の活性化」、「地域活動の活性化」などに結び付き、地域課題を解決に導く糸口になり得る場合があると考えています。私たちが目指す先には、「学校が地域に」「地域が学校に」求めることに応え合うことで、聾学校がある地域や本校の卒業生が暮らす地域が、溶け込みやすく生きやすい場所になってほしいと願っているのです。

そのため、私たち教職員は、講師を招いて研修を行いました。現在、取り組んでいることに関する理解を深め、価値付けするためです。

今後は、それらをもとに、本校に通う幼児児童生徒や本校を必要とする全てのお子さんのために、教育活動を充実させていきたいと考えておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



各学部の活動紹介

幼稚部『いもほり』

8月27日、幼稚部で育てたじゃがいもの「いもほり」をしました。昨年度の猛暑で種いもの発育が悪かったため、十分な量のじゃがいもが収穫できるか心配していましたが、今年度は豊作で、例年よりも大きなじゃがいもをたくさん収穫することができました。前日は雨が降って土が硬くなった上、当日は気温が上がって蒸し暑くなり、たくさんのいもを掘るのが大変だったと思いますが、どの子も一生懸命「いもほり」を頑張りと、バケツが足りなくなるほどたくさんのじゃがいもを収穫することができました。

9月3日の「つくってたべよう会」では、収穫したじゃがいもを使って、年長組はカレーライス、年少・年中組はいももちを親子で作りました。大事に育てて収穫したじゃがいもを使って一生懸命作ったカレーライスといもちは、どれもとっても美味しく出来上がり、おかわりがなくなるほど好評でした。余ったじゃがいもは、お土産としてお家に持ち帰ってもらいました。お家でもみんなで楽しくじゃがいも料理を作って、おいしく食べてくださいね！



小学部『「こつこつタイム」タッチタイピング』

小学部では基本木曜日の朝の自立活動「こつこつタイム」の時間に集会室に小学部全員で集まってタッチタイピングの練習に取り組んでいます。低学年などローマ字を未学習の段階から、iPadとキーボード付きケースを使い、「Typing Land（タイピングランド）」というゲーム感覚で学べるアプリを活用し、それぞれの段階に合わせて、入力の練習をしています。

タイピングで大切なのは、速さよりも「ホームポジション（正しい指の置く位置）」を身に付けることです。丁寧に練習を進めている児童ほど、着実に上達している様子が見られます。

また、子どもたちの努力が目に見えるよう、集会室には縦長の達成表を掲示しています。（一定の基準を超えるともらえる）「星がもらえた！」「クリアした！」と日々の頑張りが成果として現れる楽しさを感じながら、みんなで張り切って練習に励んでいます。



中学部『前期期末テスト』

9月7日と8日の2日間、中学部で前期期末テストを行いました。1年生にとっては、入学して初めて経験する期末テストです。会場となった集会室には、普段とは違うピンと張り詰めた緊張感が漂っていました。

テスト開始前は少し不安そうな表情を見せていた生徒たちも、開始の合図とともに集中して問題に向き合い、勉強の成果を発揮しようと真剣にペンを動かしていました。テストが終わるとほっとした表情が広がり、机の上に残された大量の消しゴムのゴミが、最後まで諦めずに挑んだ努力を物語っていました。

10月からは後期が始まります。後期にもテストが控えていますので、日頃の学習習慣をしっかり身に付けて、力を発揮してくれることを期待しています。

